

1. 科目名 (単位数)	公的扶助論 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2106 SCMP2106
2. 授業担当教員	梁 昕怡		
4. 授業形態	講義、グループ学習等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	我が国の社会保障制度の一部であり、生活を支えるうえでの「セーフティネット」ともいわれる公的扶助に関する制度の基礎知識を体系的に学習する。具体的には、貧困や低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際などに着目しながら、公的扶助の考え方やその歴史について学習する。また、我が国の公的扶助として中心的な役割を持つ生活保護制度について、その原理、原則、実施体制、制度運用の現状と問題点、被保護者の権利及び義務、相談援助活動や自立支援の取り組みを学ぶとともに、低所得層対策の考え方や具体的な制度について学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代における貧困・低所得者の問題について理解し、説明することができる。</li> <li>2 社会保障制度における公的扶助の役割について理解し、説明することができる。</li> <li>3 公的扶助制度の歴史について理解し、説明することができる。</li> <li>4 生活保護制度と低所得者支援の制度について理解し、説明することができる。</li> <li>5 生活保護の動向と課題について理解し、説明することができる。</li> <li>6 生活保護制度・低所得者支援における相談援助活動について理解し、説明することができる。</li> <li>7 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の試験問題（低所得者支援と生活保護制度）について、解ける力を持つ。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	別途通知。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<b>【教科書】</b> 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新社会福祉士養成講座 4 貧困に対する支援』第2版 中央法規出版、2026年。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 ・生活保護制度、低所得者に対する制度の内容や、これらの制度をとりまく問題について理解できたか。 ・国家試験に対応できる知識を、身につけられたかどうか。 ○評定の方法 授業への参加度 30% 試験・レポート 70%		
12. 受講生への メッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業内容は一般的にレベルが高いため、常に緊張感と集中力をもって受講すること。</li> <li>2 思考力、創造力、問題解決能力を高めるためにも、積極的な態度で授業に臨むこと。</li> <li>3 私語は厳禁である。授業に関係ないスマートフォン等の使用もしないこと。</li> <li>4 授業が始まってからは、勝手に退室しないこと。退室には必ず許可をとること。</li> </ol>		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション 貧困とは何か (テキスト第2章)	事前学習	テキスト2章を読んでおくこと。
		事後学習	貧困の基準について考えること。
第2回	公的扶助の概念 (第1章)	事前学習	テキスト1章を読んでおくこと。
		事後学習	公的扶助とは何かについて説明できるようにしておくこと。
第3回	貧困の歴史 (第3章)	事前学習	テキスト3章を読んでおくこと。
		事後学習	日本の公的扶助制度がどのように変わってきたのかを説明できるようにしておくこと。
第4回	生活保護制度 (第4章第1節) ①目的・原理・原則	事前学習	テキスト4章1節を読んでおくこと。
		事後学習	生活保護制度の二つの目的について説明できるようにしておくこと。
第5回	生活保護制度 (第4章第1節) ②生活扶助	事前学習	テキスト4章1節を読んでおくこと。
		事後学習	生活扶助の第1類費、第2類費、加算のそれぞれの機能について説明できるようにしておくこと。
第6回	生活保護制度 (第4章第1節) ③その他の扶助と保護施設	事前学習	テキスト4章1節を読んでおくこと。
		事後学習	特に、医療扶助と介護扶助の受給プロセスについて説明できるようにしておくこと。
第7回	生活保護制度 (第4章第1節) ④被保護者の権利と義務・不服申し立て・財源等	事前学習	テキスト4章1節を読んでおくこと。
		事後学習	被保護者の権利と義務について説明できるようにしておくこと。
第8回	生活保護の動向 (第4章第2節)	事前学習	テキスト4章2節を読んでおくこと。
		事後学習	近年の生活保護の動向について説明できるようにしておくこと。
第9回	生活困窮者自立支援制度 (第5章第1節・第6章第4節)	事前学習	テキスト5章1節を読んでおくこと。
		事後学習	制度の概要について説明できるようにしておくこと。

第10回	生活福祉資金貸付制度（第5章第2節） /低所得者対策（第5章第3節）	事前学習	テキスト5章2・3節を読んでおくこと。
		事後学習	制度の概要について説明できるようにしておくこと。
第11回	ホームレス対策（第5章第4節）	事前学習	テキスト5章4節を読んでおくこと。
		事後学習	ホームレスの動向について説明できるようにしておくこと。
第12回	貧困に対する支援における関係機関 （第6章第1節・第2節・第3節）	事前学習	テキスト6章を読んでおくこと。
		事後学習	生活保護における相談援助のプロセスについて説明できるようにしておくこと。
第13回	貧困に対する支援の実際①支援の視点と基本姿勢（第7章第2節）	事前学習	テキスト7章2節を読んでおくこと。
		事後学習	支援の視点と基本姿勢についてまとめること。
第14回	貧困に対する支援の実際②支援の実際（第7章第3節）	事前学習	テキスト7章3節を読んでおくこと。
		事後学習	支援プロセスについてまとめること。
第15回	貧困に対する支援の実際②自立支援（第7章第3節）	事前学習	テキスト7章3節を読んでおくこと。
		事後学習	生活保護における自立支援の意義について説明できるようにしておくこと。